

ネットワーク版ライセンス管理プログラム

# k-Server Ver.2

---

## ●導入マニュアル

# はじめに

このたびは、ネットワーク版アプリケーションをご購入いただき、誠にありがとうございます。

本書では、(株) 構造システムが提供する「ネットワーク版ライセンス管理プログラム k-Server Ver.2」(以下、「k-Server」と呼びます) の機能の概要と基本的な操作方法について説明しています。

---

## 注 意 事 項

1. 本プログラムおよびマニュアルの一部または全部を、無断で複製・転載することは禁止されています。
2. 本プログラムおよびマニュアルの内容につきましては、将来予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
3. 本プログラムを運用した結果生じた金銭上の損害・逸失利益などにつきましては、たとえ、本プログラムにエラーがあったといたしましても、その責任を負いかねますので、ご了承ください。

●Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

●その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

# 本書の構成

本書では Windows10 上で使用しているものとして、k-Server の概要および基本的な操作方法について説明しています（Windows の操作方法についての詳細は、それぞれのマニュアルを参照してください）。

## 概要編

k-Server を使用する際の機能の概要、操作などについて説明しています。プログラムを使用する前に必ずお読みください。

## リファレンス編

ネットワーク版ライセンス管理プログラム「k-Server」とライセンス利用状況の確認を行う「k-Server エージェント」の使用方法のリファレンスです。

## 付録

トラブルシューティングなどについて説明しています。

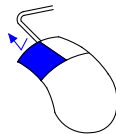
# マニュアルの表記

## ● マウス操作について

本書でのマウス操作の表記については次のとおりです。

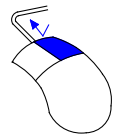
### クリック

マウスの左ボタンを1回押して  
すぐに離すこと



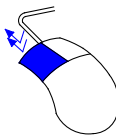
### 右クリック

マウスの右ボタンを1回押して  
すぐに離すこと



### ダブルクリック

マウスの左ボタンをすばやく  
2回押して離すこと



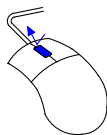
### ドラッグ

マウスの左ボタンを押したまま  
移動すること

Microsoft IntelliMouse をご使用の場合は、

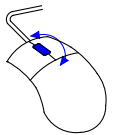
### ホイールクリック

ホイールを1回押して  
すぐに離すこと



### ホイール回転

ホイールを前後に回すこと



## ● キー表記について

本書でのキー表記については、それぞれ枠で囲んで説明しています（例：**Ctrl**キー）。  
また、キーボードの種類により、キーの表面に書かれている文字が異なる場合があります。

# 目次

## 概要編 1

- 1. k-Server の動作環境 ..... 2
- 2. インストール方法 ..... 3
  - k-Server のセットアップ方法 ..... 3
  - k-Server エージェントのセットアップ方法 ..... 3
  - ネットワーク版アプリケーションのセットアップ方法 ..... 4
- 3. k-Server の動作の仕組み ..... 5
  - k-Server の構成例 ..... 5

## リファレンス編 7

- 1. k-Server ..... 8
  - k-Server (Windows サービス版) の起動方法 ..... 8
  - k-Server の起動方法 ..... 9
  - ポップアップメニュー ..... 10
  - k-Server 設定 ..... 11
- 2. k-Server エージェント ..... 13
  - k-Server エージェントの起動方法 ..... 13
  - ポップアップメニュー ..... 14
- 3. ネットワーク版アプリケーション ..... 16
  - ネットワーク版アプリケーションの起動方法 ..... 16

## 付録 17

- 1. トラブルシューティング ..... 18
  - ネットワーク版アプリケーションが起動しない ..... 18
  - k-Server エージェントが起動しない ..... 19
  - その他の現象 ..... 19
- 2. Windows ファイアウォールの例外に k-Server を追加する方法 ..... 20
  - 設定方法 ..... 21

# 概要編

1. k-Server の動作環境	2
2. インストール方法	3
3. k-Server の動作の仕組み	5

# 1 k-Server の動作環境

ネットワーク版ライセンス管理プログラム「k-Server」は、使用したいアプリケーションプログラムがその時点で使用可能かどうかを認証するプログラムになっています。

ネットワーク版を使用するために、ネットワークに繋がっているコンピューターのうちのいずれかに、k-Server をインストールする必要があります。

k-Server をインストールしたコンピューター(ライセンスサーバー)には、ライセンスモジュールを常時接続しておき、ネットワーク版アプリケーション(BUS Series や DRA-CAD など)からのライセンス発行要求を処理するようにします。

k-Server には、ライセンスを管理するサーバープログラムの他にライセンスの利用状況の確認が行える「k-Server エージェント」が付属しています。

## ●k-Server 動作環境

- 対応 OS : Microsoft Windows 8.1 (RT は除く)
  - : Microsoft Windows 10 (Mobile/S は除く)
  - : Microsoft Windows 11 (S モードは除く)
  - : Microsoft Windows Server 2016 (Server Core、Nano Server では動作しません)
  - : Microsoft Windows Server 2019 (Server Core、Nano Server では動作しません)
  - : Microsoft Windows Server 2022 (Server Core、Nano Server では動作しません)
- CPU : OS が推奨する CPU
- RAM : OS が推奨する RAM
- HD 容量 : インストール時の空き容量 100MB 以上
- その他 : LAN でネットワーク接続されていること
  - : TCP/IP プロトコルがインストールされていること
  - : USB ポートが必要
  - : ネットワーク上の異なるセグメント間での動作保証はしておりません

## ●k-Server エージェント動作環境

- 対応 OS : Microsoft Windows 8.1 (RT は除く)
  - : Microsoft Windows 10 (Mobile/S は除く)
  - : Microsoft Windows 11 (S モードは除く)
- CPU : OS が推奨する CPU
- RAM : OS が推奨する RAM
- HD 容量 : インストール時の空き容量 100MB 以上
- その他 : LAN でネットワーク接続されていること
  - : TCP/IP プロトコルがインストールされていること

## ●ネットワーク版アプリケーション動作環境

それぞれのアプリケーションの動作環境に準じますので、それぞれの操作マニュアルなどを参照してください。

## 2 インストール方法

ネットワーク版には以下のアプリケーションが含まれています。

### ●k-Server

ネットワーク版アプリケーションのライセンス管理を行うアプリケーション。  
必ずセットアップしてください。

### ●k-Server エージェント

k-Server と通信を行い、ライセンスの利用状況の確認が行えるユーティリティプログラムです。k-Server が起動していないコンピューターからでもライセンス数や現在の空きライセンス数を取得することができるアプリケーションです。

必要な場合はセットアップしなくてもかまいません。

### ●ネットワーク版アプリケーション

必ずセットアップしてください。

## ■k-Server のセットアップ方法

セットアップ CD をセットすると「ネットワーク版セットアップについて」の html ファイルが自動的に起動します（自動的に起動しない場合はエクスプローラを起動して、CD をセットしているドライブを選択し、ファイル一覧から `setup.html` をダブルクリックして起動してください）。

「k-Server のインストール」から[k-Server をインストールする]をクリックすると、k-Server のセットアップが起動します。セットアップ画面にしたがって、セットアップ作業を進めてください。

また、セットアップ終了後、セットアップを行ったコンピューターの USB ポートにライセンスモジュールを接続してください。

## ■k-Server エージェントのセットアップ方法

セットアップ CD をセットすると「ネットワーク版セットアップについて」の html ファイルが自動的に起動します（自動的に起動しない場合はエクスプローラを起動して、CD をセットしているドライブを選択し、ファイル一覧から `setup.html` をダブルクリックして起動してください）。

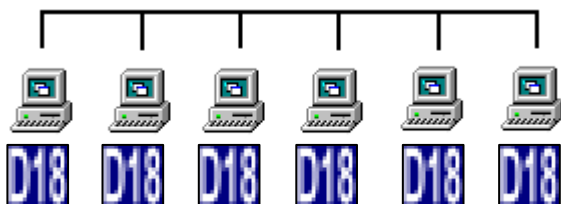
「k-Server のインストール」から[k-Server エージェントをインストールする]をクリックすると、k-Server エージェントのセットアップが起動します。セットアップ画面にしたがって、セットアップ作業を進めてください。

## ■ネットワーク版アプリケーションのセットアップ方法

ネットワーク版アプリケーションのセットアップ方法には、各クライアントコンピューターのローカルドライブにセットアップする方法とファイルサーバーなどのネットワークドライブにセットアップする方法の2種類あります。

### ●各クライアントコンピューターにセットアップする場合

ネットワーク版アプリケーションの実行ファイルは、各コンピューターのハードディスクドライブにセットアップされます。



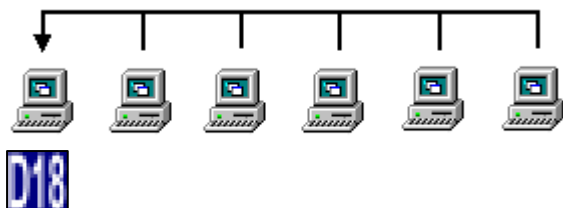
この場合、各コンピューターでネットワーク版アプリケーションを起動しても、それぞれのコンピューターにセットアップされているネットワーク版アプリケーションを使用しますので、ネットワークの負荷を低減します。

### ●ネットワークドライブにインストールする場合（DRA-CADのみ）

はじめに、実際に起動するネットワーク版アプリケーションの実行ファイルがネットワークドライブにセットアップされます。その後、ネットワーク版アプリケーションを使用する各コンピューターで、セットアップ作業を行います。このセットアップ作業は、前述の各クライアントコンピューターにセットアップした場合とは違い、クライアントコンピューター的环境設定を行うだけで、実際に起動する実行ファイルのインストール作業は行われません。

したがって、インストールやアップグレード作業が1回で済ますことができます（その場合、各クライアントコンピューターの再セットアップは必要ありません）ので、ネットワーク管理者、プログラム管理者の負担が減り、さらに全員が同じバージョンで作業を進められるという利点があります。しかし、ネットワークを使用して、ネットワーク版アプリケーションが動作するので、多少ネットワークに負荷がかかります。

すべてのコンピューターは、ネットワーク版アプリケーションをセットアップしたコンピューターの実行ファイルを起動します。





## 3 k-Server の動作の仕組み

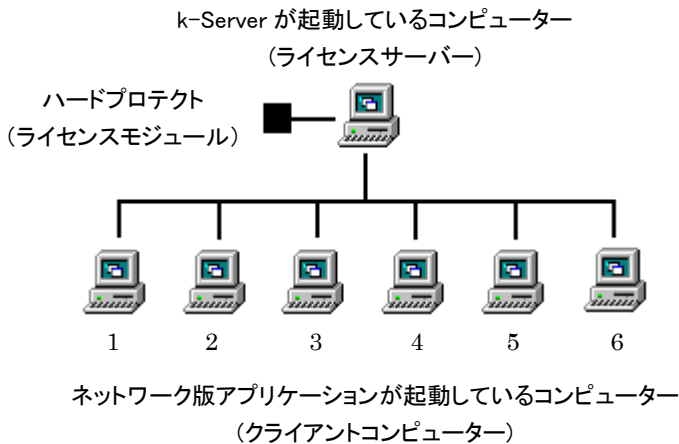
ネットワーク版では、k-Server とネットワーク版アプリケーション (BUS Series や DRA-CAD など) が、TCP/IP プロトコルを使用して通信を行います。このため、ネットワーク版アプリケーションを使用する場合、各コンピュータが相互に TCP/IP 接続をされていなければなりません。

ネットワーク版アプリケーションが起動する際、k-Server と通信を行い、現在起動中のネットワーク版アプリケーションのユーザー数とライセンスモジュールで設定されているユーザーライセンス数を比べます。

そこで、ユーザー数がライセンス数を超えていない場合、ネットワーク版アプリケーションが起動します。また、k-Server を起動するコンピュータにライセンスモジュールが接続されていないと k-Server は起動できません。

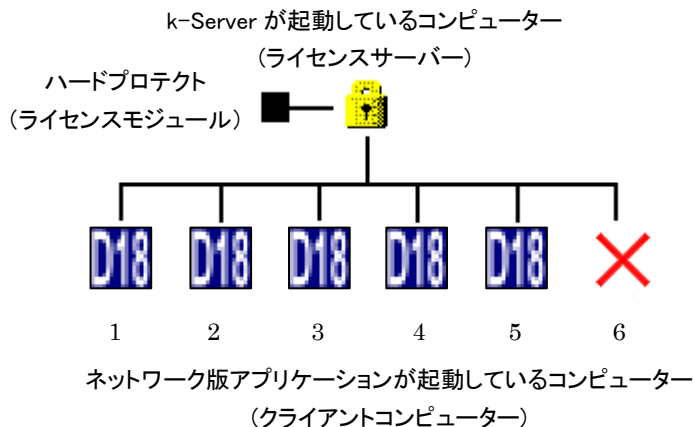
### ■ k-Server の構成例

以下では、いくつかの使用形態を例に k-Server の仕組みを解説します。



このようなネットワーク構成で、ユーザーライセンス数が5の場合、クライアントの6台中5台がネットワーク版アプリケーションを同時に起動、使用することが可能です。

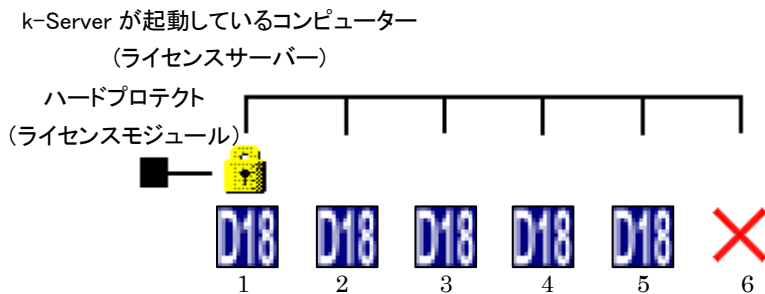
たとえば、クライアントコンピュータ1から5までがネットワーク版アプリケーションを同時に起動している場合、クライアントコンピュータ6はネットワーク版アプリケーションを起動することができません。



## ●概要編

この場合、クライアントコンピューター1から5で起動しているネットワーク版アプリケーションを1つ以上終了すれば、クライアントコンピューター6はネットワーク版アプリケーションを起動させることが可能となります。

また、以下のように k-Server とネットワーク版アプリケーションを同一のコンピューターで起動することも可能です。その場合も、前述のルールにしたがってユーザーライセンス数のチェックが行われます。



## 補 足

- ハードプロテクト (ライセンスモジュール) を取り替えることで、ユーザーライセンス数を追加することができます。ライセンスの追加購入については、弊社営業本部までお問い合わせください。

# リファレンス編

1. k-Server _____	8
2. k-Server エージェント _____	13
3. ネットワーク版アプリケーション _____	16

# 1 k-Server

ネットワーク版ライセンス管理プログラム「k-Server」の使用方法のリファレンスです。

## ■k-Server（Windows サービス版）の起動方法

Windows サービス版をインストールした場合は、k-Server の起動は必要ありません。k-Server のインストール時またはPCの起動時に自動的にk-Serverが起動されます。

以下の手順で起動状態を確認することができます。

手順1 : Microsoft Windows 8.1 の場合

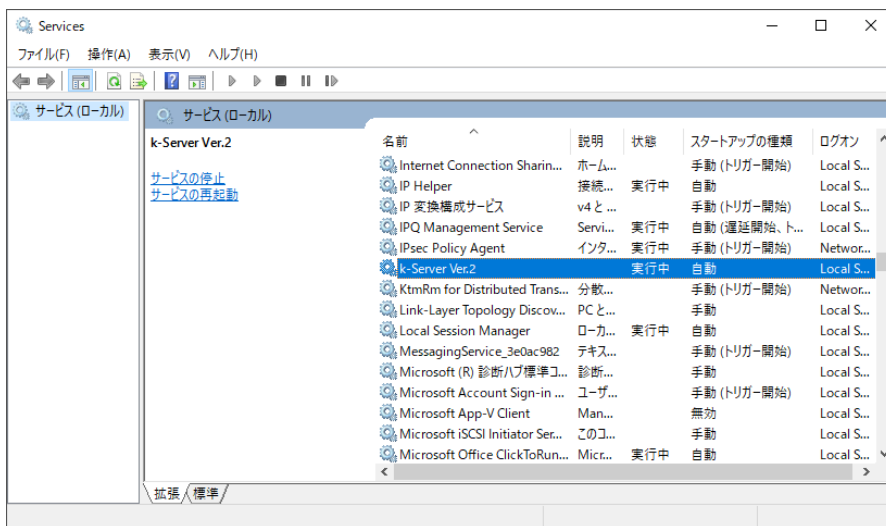
[スタート]画面の左下にある**Ⓢ**ボタンをクリックし、アプリビューを表示する  
アプリビューの「KozoSystem」のグループから、[Windows サービスの管理]のプログラムアイコン**⚙**をクリックします。

Microsoft Windows 10 の場合

Windows の**Ⓢ**(スタート)ボタンをクリックし、スタートメニューを表示する  
スタートメニューから[KozoSystem]→[Windows サービスの管理]をクリックします。

手順2 : サービスダイアログが表示される

サービスの一覧でk-Server Ver.2の項目を確認することができます。




## ■ k-Server の起動方法


ネットワーク版アプリケーションを利用するためには、必ず k-Server が起動している必要があります。以下の手順で起動します。

### 手順 1 : ライセンスモジュールの接続を確認する


k-Server は、ライセンスを管理するための情報をライセンスモジュールによって識別していません。k-Server を運用するためには、k-Server を動作させるコンピューターに必ずライセンスモジュールを接続してから実行してください。

### 手順 2 : Microsoft Windows 8.1 の場合

[スタート]画面の左下にある  ボタンをクリックし、アプリビューを表示する

アプリビューの「KozoSystem」のグループから、[k-Server Ver.2]のプログラムアイコン  をクリックします。

Microsoft Windows 10 の場合

Windows の  (スタート) ボタンをクリックし、スタートメニューを表示する

スタートメニューから[KozoSystem]→[k-Server Ver.2]をクリックします。

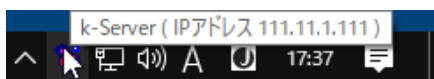
### 手順 3 : タスクトレイにアイコンが表示される

k-Server が起動すると、タスクトレイにアイコンが表示されます。



タスクトレイの k-Server のアイコンの上に、マウスカーソルを持っていくと、以下のように IP アドレスが表示されますので、記録しておきます。

k-Server へ接続するコンピューターで必要になることがあります。

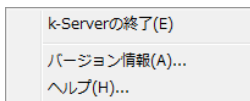


## 補 足

- ・ k-Server を長期間連続運用される場合は、k-Server のメンテナンス機能と合わせて、Windows のタスクマネージャによるプログラムの起動終了のスケジューリング (k-Server (Windows サービス版) の場合はサービスのプロパティによる回復設定など) を設定することをお勧めします。

## ■ポップアップメニュー

タスクトレイのアイコンを右クリックすると、メニューが表示されます。



### ①k-Server の終了

k-Server を終了します。

### ②バージョン情報

k-Server のバージョン情報を表示します。

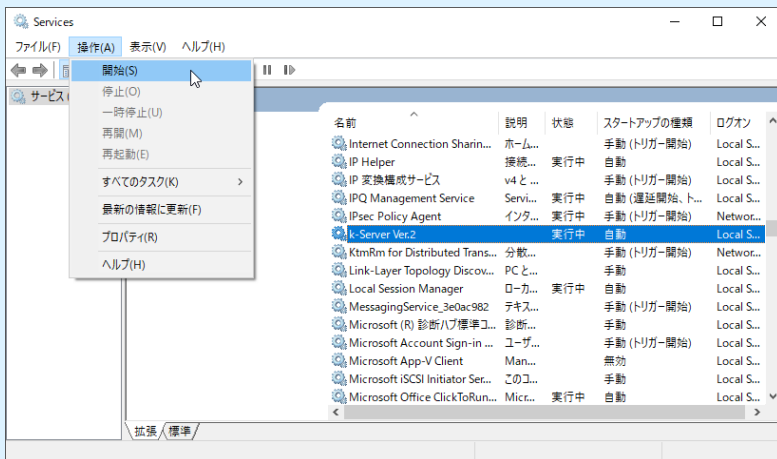


### ③ヘルプ

Adobe Reader が起動し、k-Server Ver.2 導入マニュアルを PDF 文書で表示します(詳細は「はじめにお読みください」を参照)。


## 補 足



- ・k-Server(Windows サービス版)では、タスクトレイに k-Server のアイコンは表示されません。サービスダイアログ内の k-Server の項目をクリックし、操作メニューから k-Server の起動、終了などの操作を行います。




## ■ k-Server 設定

### Microsoft Windows 8.1 の場合

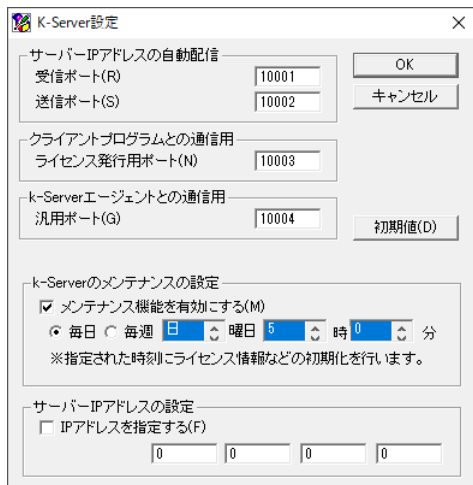
[スタート]画面の左下にある  ボタンをクリックし、アプリビューを表示します。

アプリビューの「KozoSystem」のグループから[k-Server Ver.2 設定] 、[k-Server Ver.2(Windows サービス版) 設定]  のいずれかをクリックすると、k-Server 設定ダイアログが表示されます。

### Microsoft Windows 10 の場合

Windows の  (スタート) ボタンをクリックし、スタートメニューを表示します。

スタートメニューから[KozoSystem]→[k-Server Ver.2(Windows サービス版)設定]をクリックすると、k-Server 設定ダイアログが表示されます。



K-Server設定ダイアログボックスのスクリーンショット。内容は以下の通りです。

- サーバーIPアドレスの自動配信**
  - 受信ポート(R): 10001
  - 送信ポート(S): 10002
  - ボタン: OK, キャンセル
- クライアントプログラムとの通信用**
  - ライセンス発行用ポート(N): 10003
- k-Serverエージェントとの通信用**
  - 汎用ポート(G): 10004
  - ボタン: 初期値(D)
- k-Serverのメンテナンスの設定**
  - メンテナンス機能を有効にする(M)
  - 毎日  毎週  日  曜日  時  分
  - ※指定された時刻にライセンス情報などの初期化を行います。
- サーバーIPアドレスの設定**
  - IPアドレスを指定する(F)
  - IPアドレス入力欄: 0 0 0 0

#### ①サーバーIPアドレスの自動配信

##### [受信ポート]

サーバーIPアドレスの自動配信用のポート番号を設定します。

クライアントからのサーバーの検索を行う際に、受け口となるポート番号です。  
(クライアントプログラムの送信ポートと同じポート番号を設定してください。)

##### [送信ポート]

サーバーIPアドレスの自動配信用のポート番号を設定します。

クライアントへサーバーの存在を知らせる際に、送り口となるポート番号です。  
(クライアントプログラムの受信ポートと同じポート番号を設定してください。)

#### ②クライアントプログラムとの通信用

##### [ライセンス発行用ポート]

ネットワーク版アプリケーションを使用するためのライセンス情報のやり取りを行うポート番号です。  
(ネットワーク版アプリケーションの「ネットライセンス」のポートと同じポート番号を設定してください。)

#### ③k-Server エージェントとの通信用

##### [汎用ポート]

k-Server エージェントとのライセンス情報のやり取りを行うポート番号です。

(k-Server エージェントの「k-Server エージェント」の汎用ポートと同じポート番号を設定してください。)

#### ④k-Server のメンテナンスの設定

##### [メンテナンス機能を有効にする]

k-Server のライセンス管理プログラムを定期的に再起動させたい場合にチェックします。

メンテナンス機能では、実際に k-Server プログラムを再起動するわけではありません。

クライアントコンピューターの不調などによりネットワーク版アプリケーションの使用済みライセンスが開放されない場合や、k-Server の長期にわたる連続運用によるライセンス管理の不調を未然に防ぐ目的の為にご利用下さい。

メンテナンスの設定時刻になりますと一旦ライセンス管理が終了します。接続しているクライアント側では k-Server への接続が行えなくなります。メンテナンスの設定時刻から 1 分後に再度ライセンスプログラムが起動します。その後、次のライセンス管理の設定時刻まで k-Server を利用することが可能です。

メンテナンスの設定時刻は、夜中などネットワーク版アプリケーションを使用しない事が想定される時刻に設定することをお勧めいたします。

#### ⑤サーバーIP アドレスの設定

複数のネットワークカードが存在する場合などに使用します。

k-Server のライセンス管理プログラムを指定した IP アドレスで動作させる場合に「IP アドレスを指定する」をチェックします。動作させたい IP アドレスは「.」で区切られたそれぞれ区分ごとに各欄へ値を入力します。IP アドレスはコンピューターに割り当てられた正しい値の内であればなりません。

※ネットワーク版を使う場合には、「ライセンス発行用ポート」で設定するポートは、k-Server の動作しているコンピューターや、ネットワーク版を使用するクライアントコンピューター側で必ず開放してください。

それ以外のポートは、必要に応じてポートの閉鎖などの処理を行ってください。

また、全てのポートは同じ番号にすることは出来ません。

※Windows の OS にはファイアウォール機能があります。この機能は、許可しないポート番号での通信を出来ないようにすることで、そのパソコンのセキュリティを向上させるものです。サーバープログラムが起動しているパソコンのファイアウォール機能が有効になっている場合に、k-Server で使用している通信ポート番号が許可されていないとサーバープログラムと通信することができず、起動できなくなります。ファイアウォールが有効になっている場合に、ネットワーク版を使用するには、k-Server プログラムが実行されているパソコンで、必要な通信ポートを開放しなければなりません。通信ポートを開放する手順につきましてはネットワーク管理者にお問合せ下さい。

※メンテナンス機能は、それによって完全な k-Server の長期連続運用を保証するものではありません。長期連続運用に当たりますと、k-Server のメンテナンス機能と合わせて、Windows のタスクマネージャによるプログラムの起動終了のスケジューリング (k-Server (Windows サービス版) の場合はサービスのプロパティによる回復設定など) を設定することをお勧めします。





## 2 k-Server エージェント

ライセンス利用状況の確認を行う「k-Server エージェント」の使用方法のリファレンスです。

### ■ k-Server エージェントの起動方法

k-Server には、ライセンスの利用状況の確認が行えるユーティリティプログラム「k-Server エージェント」が付属しています。k-Server エージェントは、k-Server が起動していることを確認後、起動します。以下の手順で起動します。

手順 1 : Microsoft Windows 8.1 の場合

[スタート]画面の左下にある  ボタンをクリックし、アプリビューを表示するアプリビューの「KozoSystem」のグループから、[k-Server エージェント Ver.2]のプログラムアイコン  をクリックします。

Microsoft Windows 10 の場合

Windows の  (スタート) ボタンをクリックし、スタートメニューを表示するスタートメニューから[KozoSystem]→[k-Server エージェント Ver.2]をクリックします。

手順 2 : サーバーへの接続ダイアログが表示される

ユーザー名は、自分の名前(ニックネームなど任意の名前)を入力します。サーバーの IP アドレスは、k-Server が起動しているコンピューターの IP アドレスを入力します。

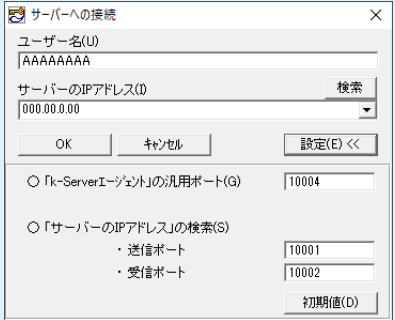


入力後、[OK]ボタンをクリックすると、k-Server エージェントが起動し、タスクトレイにアイコンが表示されます。



### 補足

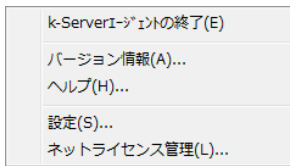
- k-Server の設定で通信用のポート番号を変更している場合は、[設定]ボタンをクリックします。ダイアログが追加表示されたら、各ポート番号を k-Server の設定値に変更してください(詳細は「1. k-Server ■ k-Server 設定」を参照)。



<input type="radio"/> 「k-Serverエージェント」の汎用ポート(G)	10004
<input type="radio"/> 「サーバーのIPアドレス」の検索(S)	
・送信ポート	10001
・受信ポート	10002
	初期値(D)

## ■ポップアップメニュー

タスクトレイのアイコンを右クリックすると、メニューが表示されます。

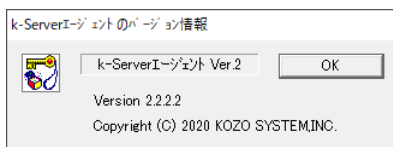


### ①k-Server エージェントの終了

k-Server エージェントを終了します。

### ②バージョン情報

k-Server エージェントのバージョン情報を表示します。

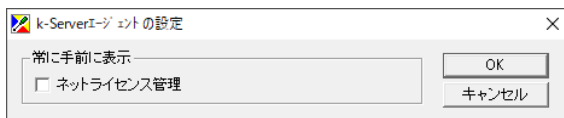


### ③ヘルプ

Adobe Reader が起動し、k-Server Ver.2 導入マニュアルを PDF 文書で表示します(詳細は「はじめにお読みください」を参照)。

### ④設定

k-Server エージェントの設定ダイアログが表示されます。



#### [常に手前に表示]

[ネットライセンス管理]をチェックすると、それぞれのウィンドウ表示の際、どのウィンドウにも隠れないウィンドウにします。

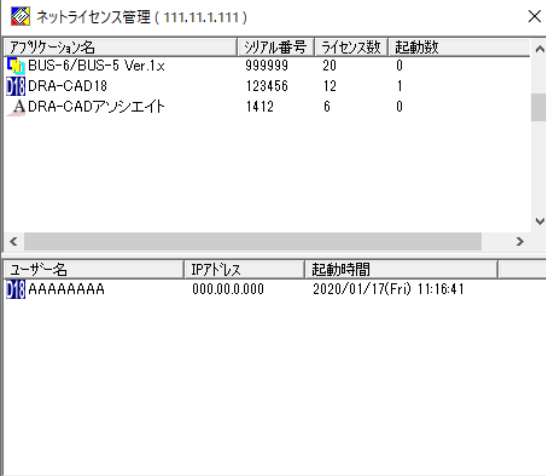
ただし、複数の「常に全面に表示」するウィンドウがある場合には、ウィンドウが隠れることがあります。

## ⑤ ネットライセンス管理

ネットライセンス管理ダイアログが表示されます。

上部には、接続した k-Server が管理するアプリケーションとシリアル番号、ライセンス数、現在起動しているライセンス数が表示されます。

下部には、ネットワーク版アプリケーションを起動しているユーザーのユーザー名、IP アドレス、起動時間が表示されます。



The screenshot shows a dialog box titled 'ネットライセンス管理 (111.11.1.111)'. It contains two tables. The top table lists applications with their serial numbers, license counts, and active counts. The bottom table lists active users with their names, IP addresses, and start times.

アプリケーション名	シリアル番号	ライセンス数	起動数
BUS-6/BUS-6 Ver.1x	999999	20	0
DRA-CAD18	123456	12	1
DRA-CADアシリエイト	1412	6	0

ユーザー名	IPアドレス	起動時間
AAAAAAAA	000.00.0.000	2020/01/17(Fri) 11:16:41

# 3 ネットワーク版アプリケーション

ネットワーク版アプリケーションの起動方法のリファレンスです。

## ■ ネットワーク版アプリケーションの起動方法

k-Server が起動していることを確認後、ネットワーク版アプリケーションを起動します。  
k-Server と通信するためにいくつかの手順が必要になります。

### 手順 1 : ネットワーク版アプリケーションを起動する

ネットワーク版アプリケーションを起動します（起動方法は、それぞれのアプリケーションのマニュアルを参考にしてください）。

### 手順 2 : サーバーへの接続ダイアログが表示される

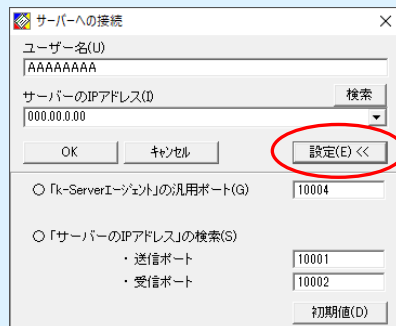
ユーザー名は、自分の名前（ニックネームなど任意の名前）を入力します。  
サーバーの IP アドレスは、k-Server が起動しているコンピューターの IP アドレスを入力します。



入力後、[OK]ボタンをクリックすると、サーバーへ接続します（[キャンセル]ボタンをクリックすると、接続を終了します）。  
ライセンスが承認されれば、そのままネットワーク版アプリケーションを実行することができます。

## 補 足

- ネットワーク版アプリケーションの起動中は、k-Server を終了させないでください。  
また、何らかの原因で k-Server が異常終了した場合、またはライセンスサーバーとして使用しているコンピューターが異常をきたした場合には、ライセンスサーバーを再起動し、そのとき利用していたネットワーク版アプリケーションの再起動をしてください。
- k-Server の設定で通信用のポート番号を変更している場合は、[設定]ボタンを押します。  
ダイアログが表示されたら、各ポート番号を k-Server の設定値に変更してください（詳細は「1. k-Server ■ k-Server 設定」を参照）。



# 付 録

- |   |    |
|---|----|
| 1. トラブルシューティング _____                        | 18 |
| 2. Windows ファイアウォールの例外に k-Server を追加する方法 __ | 20 |

# 1 トラブルシューティング

k-Server に関するいくつかの現象について説明します。

## ■ ネットワーク版アプリケーションが起動しない

### ● 「サーバーに接続できませんでした。」エラーが表示される

k-Server が起動しているか確認してください。

k-Server が起動している場合、入力した IP アドレスが間違っている可能性があります。

k-Server の起動しているコンピューターの IP アドレスをもう一度調べ、正しい IP アドレスを入力してください。

k-Server の起動しているコンピューターの IP アドレスを調べるには、タスクトレイの k-Server アイコンの上にマウスカーソルを置いてください。しばらくすると IP アドレスが表示されます。

※k-Server (Windows サービス版) ではタスクトレイには表示されません。

また使用するネットワーク版のアプリケーションのシリアル番号が、ネットワーク版アプリケーションのセットアップ時に入力したものと、ライセンスモジュールに登録してある番号が違っている場合が考えられます。

ライセンスモジュールに登録されているシリアル番号は、k-Server エージェントのライセンス管理で見ることができます。ネットワーク版アプリケーションのシリアル番号を違っている場合は、ネットワーク版アプリケーションのセットアップをし直してください。

それでもこのエラーが表示される場合、ネットワークの設定が正しくない場合が考えられます。ファイアウォールなどにより通信用のポートが塞がれている場合は、ネットワーク管理者に k-Server で必要とするポート (詳細は「リファレンス編 1. k-Server ■k-Server 設定」を参照) を開放してもらってください。

### ● 「このアプリケーションに対応できないサーバーに接続しました。k-Server のバージョンを最新版に更新して下さい。」エラーが表示される

k-Server を一度終了して、k-Server の起動しているコンピューターへ最新版の k-Server をインストールしてください。

最新版へのアップデートは構造システムグループオンラインサービスダウンロードセンター (<http://support.kozo.co.jp/download/>) においてアップデートプログラムのダウンロードができます。

### ● 「サーバーがこのアプリケーションに対応していません。このアプリケーションに対応しているサーバーに接続してください。」エラーが表示される

k-Server を一度終了して、k-Server の起動しているコンピューターに正しくライセンスモジュールが接続されているか確認し、もう一度 k-Server を起動してください。

k-Server エージェントを起動し、「ネットライセンス管理」メニューで表示されるウィンドウ上部に購入されたライセンスが正しく表示されているか確認してください。

### ● 「ライセンス数オーバーしています。」エラーが表示される

購入されたライセンス数分のネットワーク版アプリケーションが起動しているために、起動することが出来ません。また、購入されたライセンス数分起動していないのにも関わらず、起動できない場合、k-Server エージェントを起動し、「ネットライセンス管理」メニューで表示されるウィンドウ上部に購入されたライセンスが正しく表示されているか確認してください。

## ■ k-Server エージェントが起動しない

### ● 「指定された IP アドレスではサーバーが起動していません。」エラーが表示される

k-Server が起動しているか確認してください。

k-Server が起動している場合、入力した IP アドレスが間違っている可能性があります。

k-Server の起動しているコンピューターの IP アドレスをもう一度調べ、正しい IP アドレスを入力してください。

k-Server の起動しているコンピューターの IP アドレスを調べるには、タスクトレイの k-Server アイコンの上にマウскарソルを置いてください。しばらくすると IP アドレスが表示されます。

それでもこのエラーが表示される場合、ネットワークの設定が正しくない場合が考えられます。

### ● 「このアプリケーションに対応できないサーバーに接続しました。」エラーが表示される

接続先が正しい場合は、k-Server エージェントを最新版にアップデートしてください。

それでもこのエラーが表示される場合、k-Server を最新版にアップデートしてください。

最新版へのアップデートは構造システムグループオンラインサービスダウンロードセンター (<http://support.kozo.co.jp/download/>) においてアップデートプログラムのダウンロードができます。

## ■ その他の現象

### ● ライセンスモジュールを途中で外した場合

Windows サービス版として k-Server を動作させている場合は、ライセンスモジュールを途中で外されても警告メッセージが表示されません。

k-Server の再起動を促すメッセージが表示されますが、サービスで k-Server を使われる場合は、k-Server エージェントやネットワーク版アプリケーションで表示されるエラーメッセージを元に k-Server の再起動を行ってください。

## 2 Windows ファイアウォールの例外に k-Server を追加する方法

ネットワーク版では、k-Server とネットワーク版アプリケーションとの間で通信を行います。

Windows では、Windows ファイアウォール機能があります。ここでは、Windows ファイアウォールを有効にした場合に、ネットワーク版を使用する方法について説明します。

※サーバープログラムが起動しているパソコンのファイアウォール機能が有効になっている場合、k-Server プログラムと、ネットワーク版で使用している通信ポート番号が許可されていないとサーバープログラムと通信することができず、起動できません。

各機能に必要な設定は以下の通りです。

機能	名称*	ポート番号	TCP/UDP
受信ポート	k-Server IP アドレス受信ポート	受信ポートの設定値 (既定値は 10001)	TCP
送信ポート	k-Server IP アドレス送信ポート	送信ポートの設定値 (既定値は 10002)	TCP
ライセンス発行用ポート	k-Server ライセンス発行用ポート	ライセンス発行用ポートの設定値 (既定値は 10003)	TCP
汎用ポート	k-Server 汎用ポート	汎用ポートの設定値 (既定値は 10004)	TCP

※名称は任意です。

### 補 足

- ・市販のセキュリティソフトのファイアウォール機能を有効にしている場合は、お使いのセキュリティソフトでファイアウォールの設定を行う必要があります。  
お使いのセキュリティソフトの設定で、上記の表にある必要な機能のポート番号を追加してください。  
セキュリティソフトでのポート番号の追加方法は、お使いのセキュリティソフトの取り扱い説明書、またはセキュリティソフト供給元にお問い合わせください。




## ■ 設定方法

Windows ファイアウォールが有効になっている場合に、ネットワーク版を使用するには、k-Server が実行されている(ライセンスモジュールの付いている)パソコンで、k-Server プログラムと、必要な通信ポートを開放しなければなりません。


まず、ネットワーク版を使用するために以下の手順で、ファイアウォールの設定を確認します。

### 手順 1 : Windows ファイアウォールを表示する

Windows 8.1 の場合

- ① Windows の  (スタート)ボタンを右クリックし、ポップアップメニューを表示します。  
[コントロールパネル]をクリックします。
- ② コントロールパネルから[システムとセキュリティ]→[Windows ファイアウォール]をクリックすると、Windows ファイアウォールが表示されます。

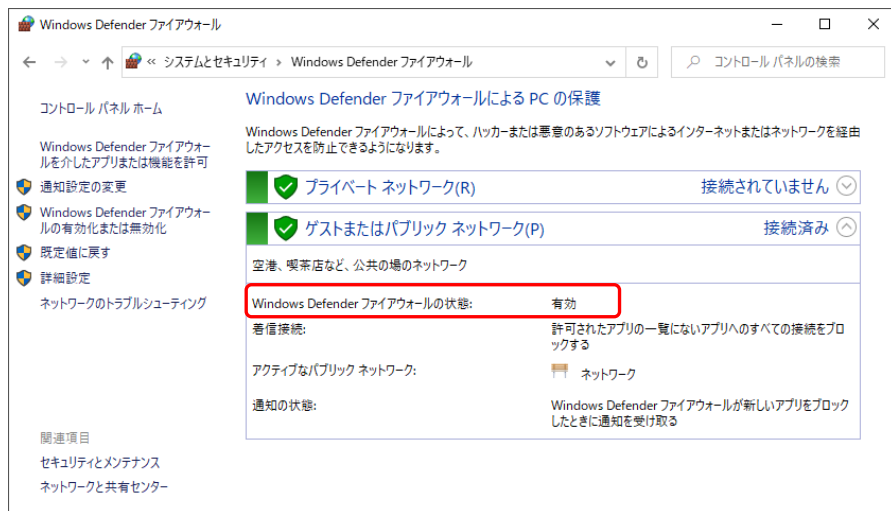
Microsoft Windows10 の場合

- ① Windows の  (スタート)ボタンをクリックし、スタートメニューを表示します。  
スタートメニューから[Windows システムツール]→[コントロールパネル]をクリックします。
- ② コントロールパネルから[システムとセキュリティ]→[Windows Defender ファイアウォール]をクリックすると、Windows ファイアウォールが表示されます。

### 手順 2 : ファイアウォールの設定を確認する

Windows ファイアウォールが無効な場合は、k-Server はそのまま利用可能ですが、画面のように Windows ファイアウォールが有効な場合は、k-Server は利用できません。受信と送信の規則で許可すると k-Server は利用可能になります。

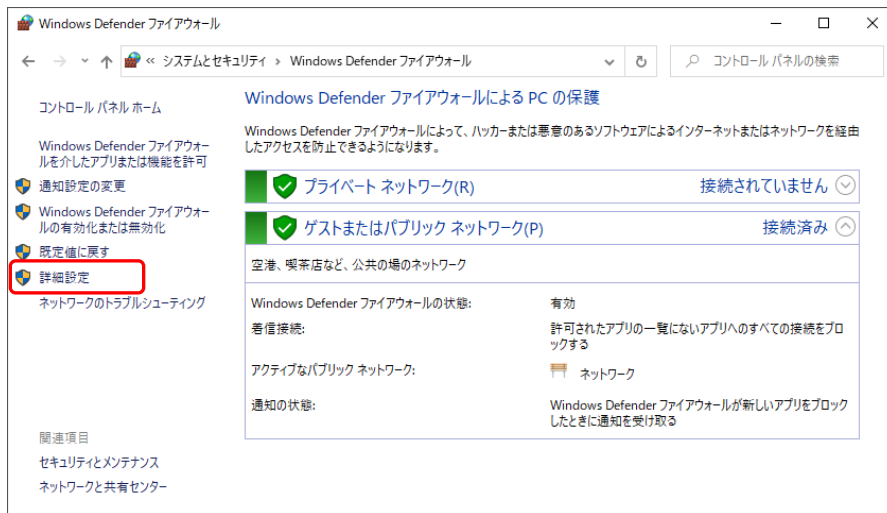
#### ▼ 例) Windows10



Windows ファイアウォールを有効にしたままで k-Server の通信を許可する方法を説明します。

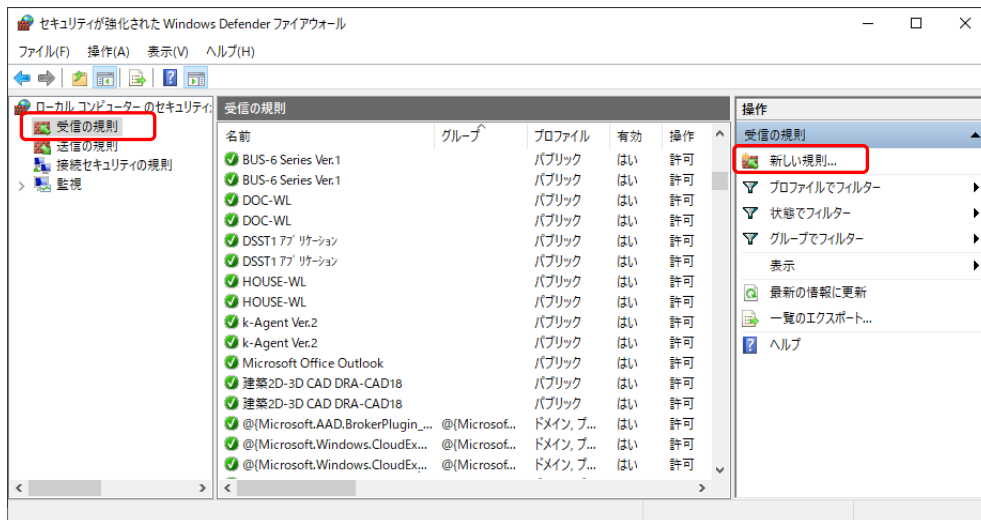
**手順 1 : セキュリティが強化された Windows ファイアウォールを表示する**

Windows ファイアウォールの左側にある[詳細設定]をクリックします。



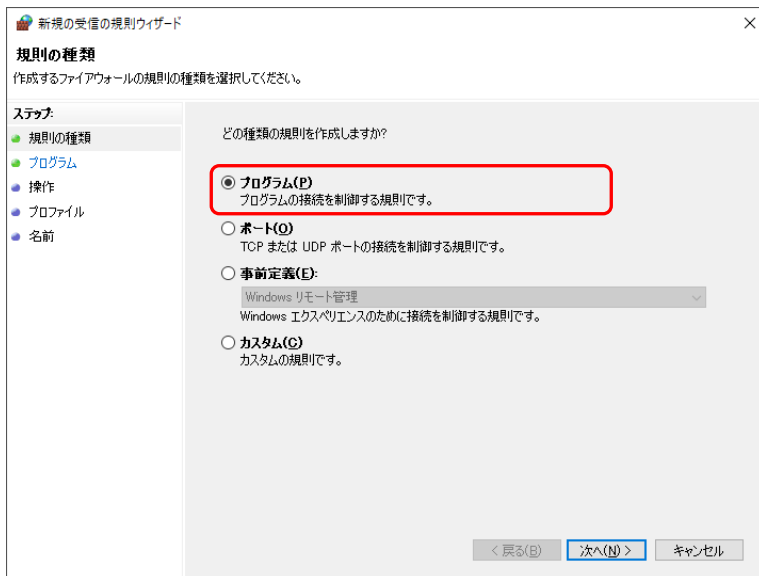
**手順 2 : Windows ファイアウォールに受信の k-Server の通信を許可する項目を追加する**

左側メニューの[受信の規則]をクリックし、右側メニューの[新しい規則]をクリックします。

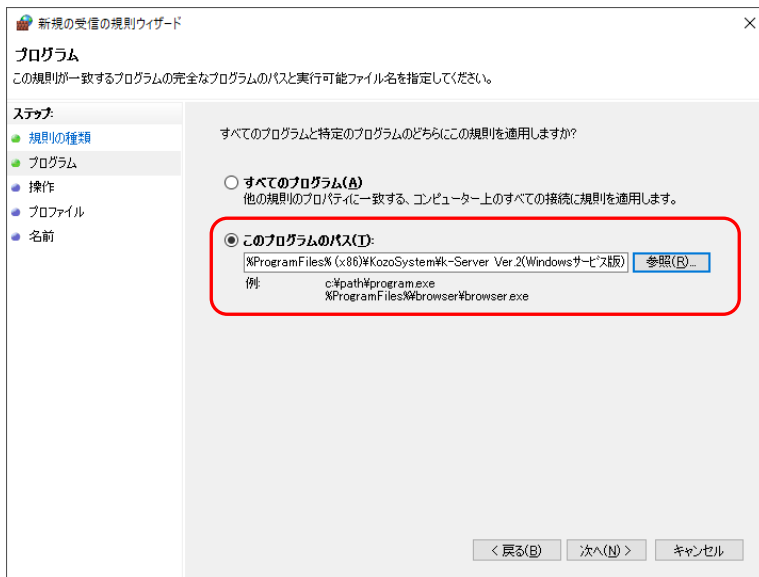


## 手順 3 : 新規の受信の規制ウィザードが表示される

① 「プログラム」が選択されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。



② [参照]ボタンをクリックし、k-Server のプログラム (k-Server.exe) を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



※k-Server のインストール先フォルダを指定してください(32bit OS ではパス名の表示が異なります)。

[k-Server (Windows サービス版)]

C:\Program Files (x86)\KozoSystem\k-Server Ver.2 (Windows サービス版)

[k-Server]

C:\Program Files (x86)\KozoSystem\k-Server Ver.2

③ 「接続を許可する」が選択されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

新規の受信の規則ウィザード

**操作**  
規則で指定された条件を接続が満たす場合に、実行される操作を指定します。

ステップ:

- 規則の種類
- プログラム
- 操作
- プロファイル
- 名前

接続が指定の条件に一致した場合に、どの操作を実行しますか?

**接続を許可する(A)**  
IPsec を使用して保護された接続と保護されていない接続の両方を含みます。

**セキュリティで保護されている場合のみ接続を許可する(C)**  
IPsec を使用して認証された接続のみを含みます。接続は、IPsec プロパティ内の設定と接続セキュリティ規則リスト内の規則を使用して、セキュリティ保護されます。

カスタマイズ(O) -

**接続をブロックする(B)**

< 戻る(B)   **次へ(N) >**   キャンセル

④ すべての項目が選択されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

※お使いの組織のセキュリティ方針によって、選択する項目は適切に選択してください。

新規の受信の規則ウィザード

**プロファイル**  
この規則が適用されるプロファイルを指定してください。

ステップ:

- 規則の種類
- プログラム
- 操作
- プロファイル
- 名前

この規則がいつ適用しますか?

**ドメイン(D)**  
コンピューターがその企業ドメインに接続しているときに適用されます。

**プライベート(P)**  
コンピューターが自宅や職場などのプライベート ネットワークに接続しているときに適用されます。

**パブリック(U)**  
コンピューターがパブリック ネットワークに接続しているときに適用されます。

< 戻る(B)   **次へ(N) >**   キャンセル

## 2. Windows ファイアウォールの例外に k-Server を追加する方法

⑤ 「名前」と「説明」欄を入力し、[完了]ボタンをクリックします。

※入力する内容は何でも構いません。何のための規則なのか後で分かるような内容にしておくことをお勧めします。

手順 4 : 通信に使うポート番号を登録する

手順 2 と同様に、左側メニューの[受信の規則]をクリックし、右側メニューの[新しい規則]をクリックします。

手順 5 : 新規の受信の規制ウィザードが表示される

① 「ポート」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

② 「TCP」が選択されていることを確認して「特定のローカルポート」欄に「10001-10004」と入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

※ 「k-Server 設定」で各ポート番号を変更している場合は、「k-Server 設定」で設定をしている番号を登録します(詳細は「リファレンス編 1. k-Server ■ k-Server 設定」を参照)。

新規の受信の規則ウィザード

プロトコルおよびポート  
この規則を適用するプロトコルとポートを指定してください。

ステップ:

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- 名前

TCP と UDP のどちらにこの規則を適用しますか?

TCP(T)

UDP(U)

すべてのローカルポートと特定のローカルポートのどちらを対象にこの規則を適用するかを選択してください。

すべてのローカルポート(A)

特定のローカルポート(S):

例: 80, 443, 5000-5010

< 戻る(B)   次へ(N) >   キャンセル

③ 「接続を許可する」が選択されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

新規の受信の規則ウィザード

操作  
規則で指定された条件を接続が満たす場合に、実行される操作を指定します。

ステップ:

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- 名前

接続が指定の条件に一致した場合に、どの操作を実行しますか?

接続を許可する(A)

IPsec を使用して保護された接続と保護されていない接続の両方を含みます。

セキュリティで保護されている場合のみ接続を許可する(C)

IPsec を使用して認証された接続のみを含みます。接続は、IPsec プロファイル内の設定と接続セキュリティ規則ノード内の規則を使用して、セキュリティ保護されます。

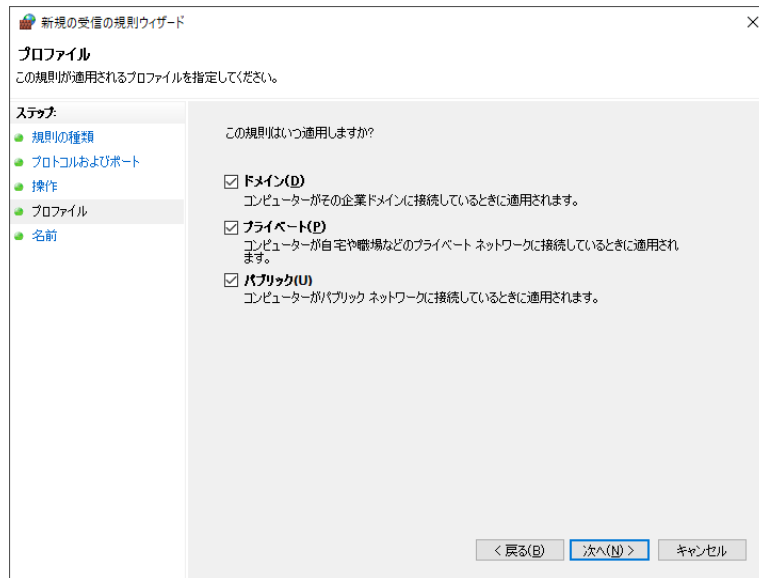
接続をブロックする(K)

< 戻る(B)   次へ(N) >   キャンセル

## 2. Windows ファイアウォールの例外に k-Server を追加する方法

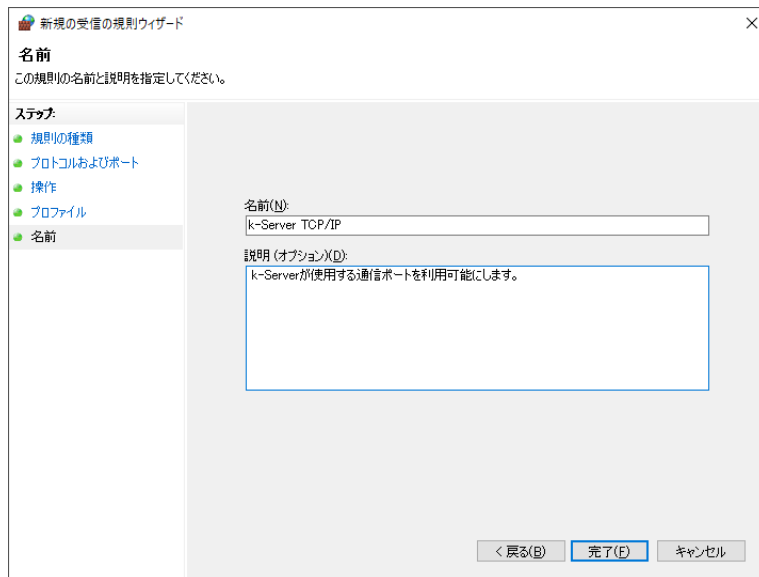
④すべての項目が選択されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

※お使いの組織のセキュリティ方針によって、選択する項目は適切に選択してください。

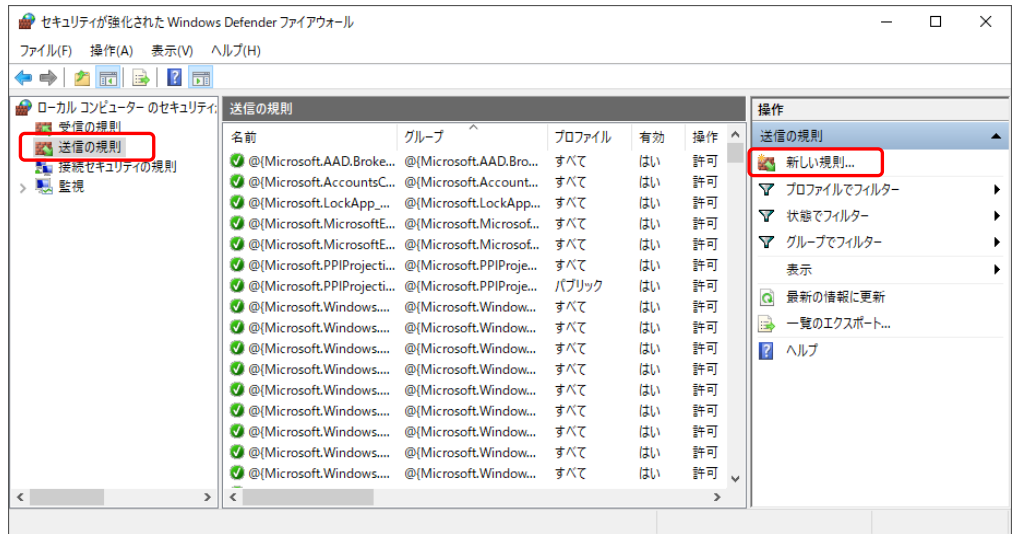


⑤「名前」と「説明」欄を入力し、[完了]ボタンをクリックします。

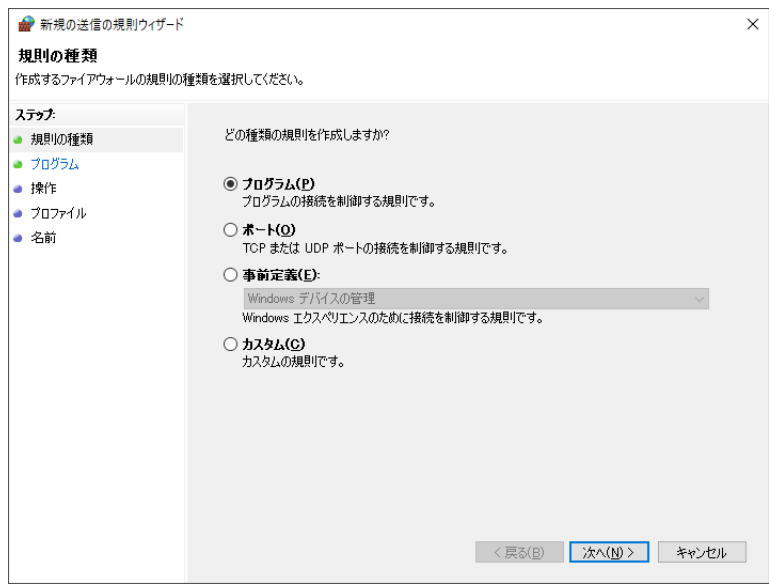
※入力する内容は何でも構いません。何のための規則なのか後で分かるような内容にしておくことをお勧めします。



手順 6 : Windows ファイアウォールに送信の k-Server の通信を許可する項目を追加する  
 左側メニューの[送信の規則]をクリックし、右側メニューの[新しい規則]をクリックします。



手順 7 : 新規の受信の規制ウィザードが表示される  
 手順 3 と同様に、k-Server プログラムを設定します。

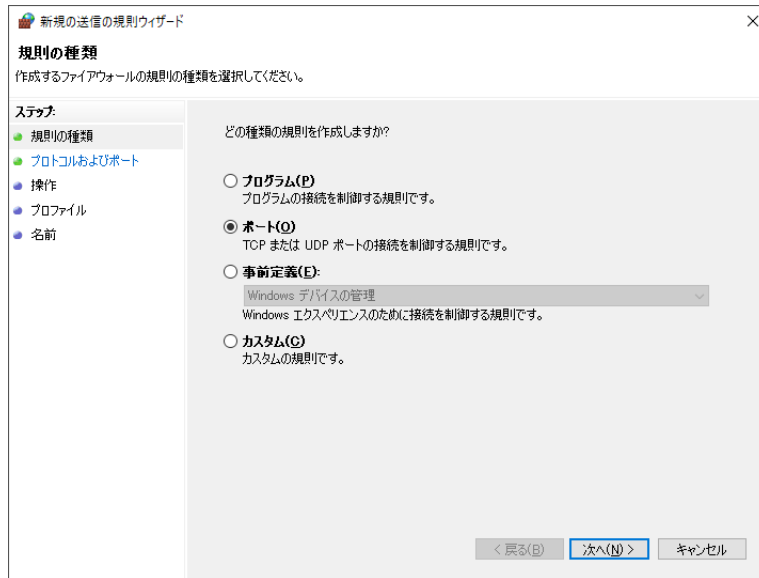


手順 8 : 通信に使うポート番号を登録する  
 手順 6 と同様に、左側メニューの[送信の規則]をクリックし、右側メニューの[新しい規則]をクリックします。



手順 9 : 新規の受信の規制ウィザードが表示される

手順 5 と同様に、通信に使うポート番号を登録します。



- 本プログラムの利用に際して操作方法などで不明な点がございましたら、まず、各マニュアルの該当項目を参照してください。それでもなお、不明な点が解決されない場合は、『はじめにお読みください』に添付している質問用紙に必要事項をご記入の上、FAXまたはEメールにて弊社プログラムサポートまでお問い合わせください。

ネットワーク版ライセンス管理プログラム

# k-Server Ver.2 導入マニュアル

---

2014年 10月 初版発行

2022年 5月 第3版発行

編者 株式会社 構造システム

発行者 安田 正弘

発行所 株式会社 構造システム

〒112-0014 東京都文京区関口 2-3-3 目白坂S Tビル

[TEL] 03-6821-1211 [代]

03-6821-1311 [本社営業本部]

※製品の仕様や登録に関しては、本社営業部までお問い合わせください。